

# 上越民商ニュース

発行  
上越民主商工会  
〒943-0827  
上越市栄町7-7  
TEL025-524-4816  
FAX025-524-3298

## 2・6中小業者決起大会に参加して 青年会員らが政治変革へ決意新たに

全国商工団体連合会(全商連)などで組織する全国中小業者団体連絡会(全中連)は2月6日午後、東京・砂防会館で中小業者決起大会を開催し新潟県商工団体連合会(県連)から42人が参加し、消費税増税阻止などの決意を新たにしました。午前中は国会議員要請行動が行われ、上越民商代表団4人は集めた署名を森ゆうこ議員(自由)に託し、懇談しました。(前号ニュース既報。集会等の詳細は商工新聞2/18号参照)

中小業者決起大会に参加した方々から感想文が寄せられましたので紹介します。

【尾崎奈菜さん(29)

化粧品販売業】

国会議員会館を見て、とてもお金のかかっている建物だと思った。警備体制がすごかった。森ゆうこ議員との対応では、挨拶をした時点で秘書の方が快く議員室に入れて下さり気持ちの良い対応だった。鞆とコートを下に置こうとしたら「机を使って下さい」と、秘書の方の心配りにも感動した。名刺交換をさせていただき、一人一人の意見に耳を傾けようとしてくれる森ゆうこ議員の姿に感動した。忙しい中、時間を作ってくださった事も嬉しく思った。



森ゆうこ参議院議員に署名簿を託す上越民商と見附民商の代表団(左から)高嶋貴之さん、尾崎奈菜さん、岩澤健さん。(右)長井俊文さん

このような議員さんもあるのだと。このような議員さんのためにも、私たちが今すべき事をし、意識を高く持ち、周りの人々に伝えていくこと、行動することが大切だと思う。

風間直樹議員の対応は、秘書の方ですら挨拶がないことにビックリ・ショックだった。森ゆうこ議員との差が大きく、なおさら冷たい印象を受けた。

【長井俊文さん(35)

建築業】

大変有意義な時間を過ごさせていただきました。議員に対するイメージも、森ゆうこさんの下からの意見をしっかりとみ取る姿勢や、共産党が政党助成金を受け取らないと言う覚悟はとても素晴らしく思いました。決起集会では、テレビで見る問題

## 住宅リフォーム継続など、 地域経済振興求め上越市と懇談

地域経済の振興を図るため、市内中小業者への施策拡充を求め上越民商は2月5日、7項目の要望を持って上越市の関係部局と懇談しました。

上越民商が要望した施策は、①自然災害への対策、復旧・復興計画へ地元中小業者を位置付けるこ

と。適正な単価を保障する公契約条例を制定すること。②「住宅リフォーム助成制度」を次年度も



要望書を手渡す上野正信会長(右)

は画面の中の問題ではなく、近々自分自身に降りかかる災害だと改めて認識しました。デモ行進も初めて参加しました。国は政府の奴隷、政府は安倍政権・総理の奴隷なので、結局

国民が奴隷になるだけなので、国や国民を守るのも自分たち一人一人が行動を起こさなければならぬと実感しました。今後は周りにも声を掛け一緒に立ち上がっていただけ



県連の渡部会長と一緒にデモの先頭を歩く上越民商代表団の4人



上越市の各部局(右側)と懇談する上越民商の役員

実施し、使い勝手の良い制度になるよう改善すること。③「店舗等改装促進事業」の補助金額の上限引き上げなどの改善を図ること。④国保税の引き上げは行わないこと。強権的徴収はせず、市民に寄り添いながら減免申請などを積極的に進めること。⑤地方税等の督促や回収にあたっては、親身で丁寧な対応をすること。納税緩和措置、とりわけ「申請型の換価の猶予」を住民に知らせ生活

【高嶋貴之さん(33)

ハウスクリーニング業】

消費税10%今上げるべきではないの陳情活動に参加させていただきました。

もっとも政治の勉強をしないとまずいと危機感を感じました。これから私達が暮らしていく日本を考える体験でした。

用を図ること。一方的な差し押さえなどの滞納処分を強行しないこと。⑥憲法違反の「マイナンバー制度」は廃止するよう国に働きかけること。⑦地域経済と地域住民の生活を破壊する消費税増税に反対すること。中小業者に多大な事務負担を押し付ける軽減税率や適格請求書(インボイス)制度の実施に反対を表明することの7項目。

それぞれの担当課長などからは、来年度予算が議会に提案されていないこともあり、詳しくは回答できないと前置きがあったものの、終始和やかにかつ全体的には前向きな懇談になりました。

懇談には、上野正信会長、岩澤健副会長、山本誠二副会長、長谷川良民さん(城北支部・建築)、竹内大吾さん(直西支部・建築)の6人が参加しました。

又この懇談実現に尽力いただいた共産党議員団(3名)にも同席していただきました。